



◆ご挨拶

あけましておめでとうございます。

皆様には、大きな希望を持って新しい年を迎えられたと思います。

人は本来、神の子・仏の子として生まれました。ところが罪を持ったために神仏から遠い存在となっていました。そのため、人間社会においては闘争が起こり、個人においては根源的な悩みがあるのです。天光寺では、仏法に基づいて、本来の神仏の心を取り戻すために修行を行なっています。

神仏の心を自らの心とすれば、正義・安らぎ・許し・謙虚の人となることが出来ます。又、悪に対しては厳格・怒りをもって対応できるようになります。このような心が広く、深い正義の人となるために修行を行なっています。

私たちの生活は、日々の生活が修行なのです。これは、座禅とか止観といわれています。皆様におかれましては、日々、人間性の向上のために祈り・念仏の生活をされることをお勧めいたします。

真言宗臼杵山天光寺住職 高尾聖賢

〒190-0214 東京都西多摩郡檜原村字本宿801-2

TEL: 042-598-3133 FAX: 042-598-3177

URL | <http://www.tenkouji.jp/> MAIL | info@tenkouji.jp

発行日 平成 24 年 1 月 1 日 発行人 天光寺 住職 高尾聖賢



天光寺は湯殿山総本寺大日坊金剛院龍水寺と法縁を結んでいます。
大日坊金剛院龍水寺は 700 年前から徳川家の祈願寺です。

天光寺の高尾聖賢住職は、徳川家祈願寺の真言宗豊山派湯殿山総本寺 瀧水寺金剛院大日坊の貫主第 95 世遠藤宥覚様の元で修行し法縁を結ばれました。また、湯殿山総本寺 瀧水寺金剛院大日坊貫主第 95 世遠藤宥覚様が天光寺の名誉住職に就任されました。

大日坊は大同二年弘法大師の開基であり、正しい寺名は湯殿山龍水寺金剛院としました。寺勢がさかんになるとともに増坊が必要になり、湯殿山流戒律の修行道場、執事本坊、講堂も兼ねた建物として大日坊が出来ました。慶長 19 年には間口 42 間、巾 12 間の大伽藍の建立し発展した。大師が開基された金剛院瀧水寺は、奥の院大日閣として祭られた大日坊に大日如来を安置し本堂として隆盛を極めた。

大師は湯殿山大権現（金剛界・胎藏界両部大日如来）と自らの姿を水鏡にうつして之を刻み初代住職の渡海上人にこの寺を附属させた。明治の廃仏棄釈、続いて火災、昭和 11 年の地滑りと悲運に見舞われましたが、法燈を守りつづけ 2007 年には 1200 年祭をおこない、現在開基以来 1203 年目を迎えました。現在の住職、遠藤宥覚貫主様は 95 世を数えて居ります。

◆天光寺開山の話

天光寺を開山した高尾聖賢住職は、仏門に帰依する前は、さまざまな事業を多角的に行っていました。しかし事業を続けているうちに、物質社会では何も解決しないことを悟りました。そのような中で、各地の霊山で密教の修行をし、仏教だけでなく道教についても学び、さらに修行を積み、最終的には仏門に帰依しました。それまで行ってきた事業を後継者に譲って、東京都西多摩郡檜原村に天光寺を建立した。天光寺の建立には、信者達が鉄骨を運んだり、山を切り崩して創建したものであり、信者が造った手作りのお寺であります。

◇ お百度参り

百度参りの祈願は、お百度石を踏むことにより、心の願いが成就するように願うものです。天光寺では、境内に百度石があり、その石柱まで百回往復しておこなっています。行衣を着て念仏を唱えながら裸足でおこなっています。この行を通して願いが成就するように修行を行なっています。

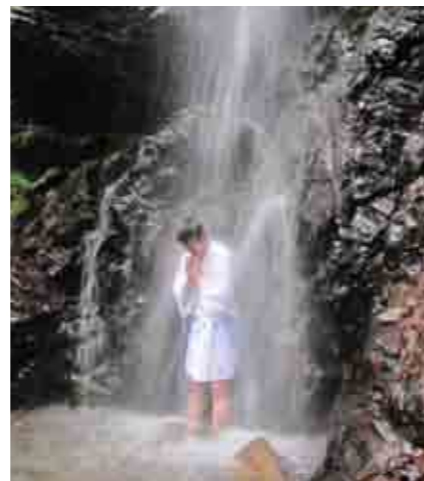


◇ 写経

経文を書き写すことを言います。天光寺では般若心経を書き写しています。一つのことに意識を集中させるため、心身の癒しになるからです。信仰的には、写経は、心を清めて信仰心を養う訓練です。言い換えれば、写経は、仏さまの心を知って、その心を自分の心にする事です。天光寺では、修行者に写経を大切な行として指導しています。

◇ 滝行

冷たい滝に打たれることです。南秋川の龍神の滝で行なっています。人間は、日頃、肉体的欲望に影響されて、心を無いがしろにして生活をしています。滝行は、肉体を打って心を研ぎ澄ます修行です。肉体を打つ行として断食がありますが、それと並んで、宗教の修行として非常に大切な行です。天光寺では、滝行を非常に大切な神聖な行として行なっています。神仏を感じる研ぎ澄まされた心を取り戻すことができます。



◇ 読経

「読経」は経文を見ながら読唱することです。經典の読誦は、本来、經典の意義を理解し実践するため、また經典を広めるためでありましたが、大乘仏教では、「読経」そのものが宗教的活動であるとしている。天光寺では、般若心経を読誦します。般若心経は278文字からなり、仏典数万巻の教えを集約したもので、森羅万象全ての真理を説いているものであります。大きな声を出して何回も行なうことにより、心の浄化を得ることができます。

◇ 天光寺年中行事

- 1月 初詣 (修正会) 元旦より3日間本山参り
- 2月 常楽会 お釈迦様(釈尊)が入滅された日に行う法会
- 3月 正御影供 弘法大師の祥月命日にあたり、大師の恩徳を報謝する会
春季彼岸会 春の彼岸中日とその前後3日間にわたって行われる法要
- 4月 花まつり(仏生会) お釈迦様の誕生を祝う会
- 7月・8月 盂蘭盆会 7月、8月の10日から15日に行われ、先祖を呼ぶ法会
- 9月 秋季彼岸会 秋の彼岸会の中日とその前号3日間にわたって行われる法会
- 11月 心願成就写経会
- 12月 新年大護摩供養
- 12月31日 施元旦にかけて新年大護摩供養 (千本護摩)

◇ 教理・教養について

天光寺の御本尊は大日如来です。人は心身において大日如来と一体となるべきであり、現世において即身成仏になれると説いています。天光寺は、この教えに基づいて、全人類を救うために、仏法真理と真言の教えを説き、大日如来の意識を人々に広げるため、布教活動を行っております。

私達は、仏法真理と真言の教えを学び実践していくことで、高き人格を形成し、よりよい人間関係、健康と幸福な家庭環境を構築できると考えています。そして、未来性生に向かって魂(みたま)を向上させ、自己を輝かせ、光輝く存在として生きなければならないと説いています。

私達人間は、この世とあの世の輪廻転生を繰り返しながら魂(みたま)を磨き、神仏(大日如来)の分けみたま(魂)として、光輝く存在として生まれてきているのです。自分自身の真我(大いなる目的)を悟り、靈性を帯びた人間として、人々に愛を与え、反省と懺悔、感謝をし、人間性をさらに深めるために仏法真理と真言の教えを説いています。

真言密教の教えとは、宇宙の根源と大日如来の教えにより、人は生きながらにして仏になること(即身成仏)で、自分自身が宇宙の真理を悟ることができる教えです。

大日如来とは、世間の闇を広く照らし、すべてのものを生かし育て、その生命は、過去、現在、未来の三世に生き続け、生きとし生けるものを悟りに導くものであります。



天光寺へのアクセス

車の場合

檜原村役場の先のT字路を左折、約3km程、7分程直進後、笹平バス停を左手に白い看板を斜め左方向にのぼり旗に沿って500m直進

電車・バスの場合

JR武蔵五日市駅より数馬行きのバスで約30分、『笹平』で下車、徒歩10分